

衛星ブロードバンドによる漁場予測の実証と  
持続的漁業活動の高度化に向けた衛星ブロードバンドの利活用の検討  
～KDDI 株式会社との共同研究～

- KDDI 株式会社提供の Starlink Business を小型いか釣り漁船に搭載し、衛星ブロードバンド通信による双方向データ通信の実証試験を開始します。
- 双方向データ通信を利用して、漁船から漁場環境データ等を研究機関に送信し、これを反映させた漁場予測モデルの計算結果を漁船にフィードバックするなどの方法で漁場予測の高度化を実証します。
- いか釣り漁業でのブロードバンド導入による様々な効果を検証していくとともに、通信利用エリアの拡大に応じて、順次その他の漁業での活用についても検討します。

開発調査センターでは、漁業・養殖業の発展に向けて、内外の研究成果や新たな技術の社会実装を行うことで水産業に貢献しています。具体的には実際に稼働する漁船等を用いて、現場での様々な実証調査を行っています。

KDDI 株式会社では、日本の領海内でも利用できる低軌道周回衛星による衛星ブロードバンド「Starlink Business」を提供しています。この衛星ブロードバンドは従来の通信速度よりも高速で、漁船漁業に大きな変革をもたらす可能性があります。

そこで、開発調査センターと KDDI 株式会社は、この衛星ブロードバンド通信を利用した双方向通信による漁場予測の高度化と、衛星ブロードバンド通信を利用し漁業現場で新たに活用することを検討する共同研究を開始します。

今年度は沿岸いか釣り漁船に Starlink Business を搭載、いか釣り漁業での衛星ブロードバンド導入による様々な効果を検証していきます。また、順次その他の漁業での活用についても検討し、沿岸・沖合漁業の効率化を図るとともに、漁船漁業を先進的な産業に発展させることに寄与するものです。



<東和電機製作所 濱出丸>

本件照会先: 国立研究開発法人 水産研究・教育機構

開発調査センター 開発業務課 加藤 慶樹 TEL:045-277-0184